

各高等学校書道担当者 殿

「県高校揮毫大会確認事項」

1 揮毫及び作品提出について

- ☆ 紙の広さは、全紙(9,450c m²)以内の面積です。
- ☆ 紙は白で無地とし、仮名の料紙以外の色紙は不可とします。また、罫線入りの紙も不可とします。(下敷きは可)
- ☆ 罫線を入れた下敷きを使う紙は、未使用のものとしします。
- ☆ 書いた作品の墨を拭く反古紙は、作品制作に無関係のもの(白色・無地に限定しない)を使用してください。
- ☆ 創作課題の最多文字数は、漢字作品が七言律詩を2首書いた場合の112文字、漢字仮名交じり作品が120文字程度とします。
- ☆ 創作において、五言・七言絶句の課題を2つ連続させての揮毫は禁止とします。
40字、56字の作品を作る場合の課題は、それぞれ五言・七言律詩の課題を揮毫するようにしてください。
- ☆ 創作部門の漢字仮名交じりの書について、本文の一部を重複する書き方は不可とします。課題文のままの語句を書くこと。ただし、旧字体・常用漢字への変換は認めます。
- ☆ 臨書課題については各学校で用意してください。
- ☆ 仮名の色紙などや漢字の対聯作品は、白の紙に貼り付けて提出してください。
- ☆ 携帯電話等(スマートフォンやタブレット等)の書道アプリ等の持ち込み・使用は認めません。
- ☆ 臨書揮毫用の画仙紙への検印はいたしません。

2 机の使用について

原則として揮毫は床で行うこと。ただし、以下の場合には机での揮毫を認めるので、顧問の判断により事前に参加申込書で申請すること。

- ☆ 篆刻、仮名の細字、漢字の細字を制作する生徒。ただし、漢字の細字もできる限り床で行うこと。
- ☆ ケガ等で床での揮毫が困難と思われる生徒。

3 入場について

- ☆ 会場への入場は各学校の受け付け開始時刻からになります。職員も同様です。
- ☆ 参加生徒は開場後に1階出入り口から入場し、必要があれば館内階段から地下駐車場へ降りて道具の搬入を行ってください。
- ☆ 例年、地下入り口外側で待機する生徒がいますが、地下駐車場に人が押し寄せるのは危険なのでおやめください。
- ☆ 会場設営担当校の生徒のみ8:00に地下駐車場入り口から入場してください。

※参加申込後に変更が生じた場合は、係までご一報ください。

※参加申込書の書式は県高文連のホームページに掲載いたしますので、ご活用ください。

◎ 鹿児島県高等学校文化連盟 → 専門部紹介 → 書道

係 吹上高等学校 鈴木 寛 治
(TEL099-296-2411)